

平成23年度教育課程

佐賀市立城東中学校

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

「夢を持ち、夢を追う生徒、根のわかる、根になれる生徒、感動できる生徒の育成」

- 目指す生徒像・教師像・保護者像・学校像(統一)
- ◇ 夢を持ち、夢を追う 生徒・教師・保護者・学校
- ◇ 根のわかる、根になれる 生徒・教師・保護者・学校
- ◇ 感動できる 生徒・教師・保護者・学校
- ※ 目指す地域像としても考えていきたい。

(2) 目標を達成するための基本方針

- ◎ 教師、保護者、地域とともに、学校教育目標を意識した教育活動の充実を図る。
- ◎ 生徒自らが自己肯定感を高め、自他のよさに気づき、共に伸びようとする教育活動のあり方・進め方を探究する。
- ◎ わかろうとすることを大切に学習指導を探究し、基礎・基本の定着と意欲を持って学ぶ学習習慣の定着を図る。
- ◎ できるようになろうとすることを大切に、心に響く生徒指導のあり方について探究する。
- ◎ 生徒の感動体験の場として、学校行事等のあり方を工夫する。
- ◎ 教職員相互の信頼と協調を大切にしながら、より高い専門性と指導力を身に付けるよう互いに磨きあう。
- ◎ 保護者や地域住民の願いを教職員全体で共有し、家庭・地域と連携して教育活動にあたり、信頼される学校づくりを推進する。
- ◎ ふるさと城東を舞台とした学習活動を展開し、地域に対する関心を高めるとともに感謝の心を育む。

2 本校の教育の特色

- ・ 生徒一人一人が「自己肯定感」を実感できる学校
- ・ わかろうとすることを大切に学習指導
- ・ できるようになろうとすることを大切に生徒指導
- ・ 掃除が行き届き、美しい環境整備を推進する学校
- ・ 郷土の伝統を知り、地域の行事に進んで参加する学校
- ・ 小中連携による、児童・生徒並びに教職員間の交流活動

3 教育計画

(1) 本年度の教育の重点

- (1) 学びあいを柱とした学習指導の充実
 - ・ 生徒が互いに学びあい、認めあい、高めあいができる学びの場を設定するなど、学習形態と指導方法・内容などを工夫し、自己肯定感を実感できる学習活動を展開する
- (2) わかろうとすることを大切に学習指導の充実
 - ・ 基礎・基本の定着と、意欲を持って学ぶ学習習慣の定着を図る
- (3) 心に響く生徒指導の充実
 - ・ 学校生活の4つの基礎基本を徹底する:「あいさつをする」「人の話を聞く」「時間を守る」「服装を正す」
 - ・ できるようになろうとすることを大切に生徒指導を目指す
- (4) 心を耕す教育活動の推進
 - ・ 人権・同和教育の推進
 - 感謝と思いやりの心で一人ひとりがつながり、信頼できる人間関係を育てると共に、「この学校で過ごせて良かった」と思える学校をめざす
 - ・ 学校行事等、生徒の感動体験の場の工夫や設定を行う
- (5) 美しい環境整備の推進
 - ・ 磨きこんだ掃除やものを大事にすること、また、クリーン大作戦などの活動を通して、生徒一人一人が自分たちの学校に誇りと愛着を持てるように指導・支援する
- (6) 同じ方向をめざす学校・家庭・地域の教育力の向上
 - ・ 学校ホームページや学校評価の活用、小・中連携の推進、PTAや地域諸団体会議等との緊密な連携を進め、身近に感じられる学校、協力しやすい学校をめざす

(2-1) 幼保小中連携の取り組み

○中学校入門プロジェクト

- ・中学校体験授業、部活動見学・体験・・・夏季休業を利用して、小学6年生を対象に中学校の授業を体験させたり、部活動の見学や体験入部をさせたりする。
- ・新入生説明会・・・小学6年生及び保護者に対して、中学生が中学校生活についてのプレゼンテーションを行う。
- ・ようこそ先輩・・・中学生が小学校に出向き、Q&A方式で中学校生活のスムーズなスタートのためのヒントを与える。

○小中教職員交流プロジェクト

- ・小中合同校内研究会・・・校区内の小中学校で相互に研究授業を行い、合同で研究協議を行ったり、講師を招聘しての講演会を開催したりする。
- ・生徒指導、教育相談連絡会・・・定期的に生徒指導及び教育相談担当者の連絡会議を開催し、特に、年度末には、小学校から中学校に入学する児童についての理解と指導・支援について協議する。
(小中間の特別支援計画やグループロール作戦のカルテの引き継ぎを確実に進行)

○各種交流会

- ・特別支援教育交流会・・・校区の三小学校の特別支援学級と共に、毎年12月に一緒に料理を作ったり、レクレーションをしたりして、他校や異校種との交流を深める。

○地域教育推進プロジェクト

- ・城東校区内4校の教職員全員が、「学校運営・行事」「生活指導」「教育相談」「学力向上」の4部会のいずれかに所属し、従来各校単位で行っていた教育活動を協働で行うことにより、職員間の相互理解と迅速かつ的確な情報交換、そして、校区内一斉クリーン大作戦などの各種作業の効率化を図る。

(2-2) いじめ・命を考える取り組み

- ・「命」を考える日の取り組みとして全校朝会等でさまざまな話題の中から、命の尊さや「いじめ」について考えさせ自分や周囲の友人について振り返り、人権意識の高揚を図る。また、学校だよりやPTA広報紙等を利用して命の尊さを考えさせる。
- ・生徒会を中心として、いじめ追放宣言、いじめの撲滅や身の回りにある課題に気づき解決に取り組ませるとともに、お互いの良さの発見と伸長を図り、自己肯定感を高める実践を重ねる。
- ・定期的なアンケートを実施し、生徒の実態を把握するとともに、個別の教育相談に当たる。
- ・年間計画の中で人権講話を企画し、いじめや命について考える機会を設定する。
- ・生徒が怪我や事故にあった場合は、全校集会を開き命の尊さを訴え、いじめや暴力の問題について生徒に真剣に考えさせる機会にする。

(2-3) 市民性をはぐくむ取り組み

- ・地域行事や諸団体の行事への参加について継続・拡充を図りながら地域社会とのつながりをよりいっそう深めていく。
- ・校区の公民館との連携を深め、地域の体育祭や文化祭、お祭りなどでの生徒の発表の場を多く設定する。
- ・生徒が地域への感謝の気持ちを高め、自らが地域へ還元できる取り組み(ボランティア等)を企画するなど、地域に主体的に関わろうとする意欲や態度を育成する。
- ・地域教育推進プロジェクトを核に、「あいさつでつながひろがるまちづくり」を合言葉とした、校区内で共通理解のもと取り組む活動を活発化することで、市民性をはぐくむ。
- ・校区内の小学校や公民館と連携をはかった、校区全体で行うボランティア行事を計画するなど市民性がよりいっそうはぐくめるような場を設定する。

(3)指導の重点

<p>各教科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の趣旨にそった学習内容の検討・充実 ・新学習指導要領への移行措置を勘案した学習指導計画の作成 ・思考力、判断力、表現力の育成をねらった言語活動の充実においては全教科において行う ・「学びあい」を軸とした学習過程を研究し、聴き合い、教え合い、高め合う学習指導の展開 ・基礎・基本の定着を目指した、教材・教具及び指導方法の工夫・改善 ・生徒の関心・意欲を高めるためのわかる授業の展開 ・TT、少人数指導の工夫改善 ・県学習状況調査、全国学力・学習状況調査等の分析と活用 ・各調査分析結果を基にした選択教科・選択コースの開設 ・選択教科における、基礎学力向上のための補充的学習内容の充実 ・指導に生かす評価・評定の見直し ・学習課題の工夫による家庭学習の習慣化 ・各教科での「学習の手引き」の作成とその活用 ・家庭との協力による学ぶ習慣の定着 ・長期休業、テスト前、放課後等を利用した補充学習会による基礎学力の定着 ・「朝の読書」による読書習慣の定着 ・「読み聞かせ」による読書活動の充実 ・授業研究の充実(県教育センター講座及び小中連携による授業研究等) ・小中合同の研究会を開催し、小中連携して取り組む学習習慣の確立 ・積極的な授業公開に基づく校内研究の充実 ・「わかろうとする」ことを大切に学習指導の全教科での展開 <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の定着を目指した指導方法を工夫し、語彙力を高める。 <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ニュースや新聞資料・時事問題を活用し、社会的現象への興味・関心を持たせる。 ○指導法の改善に取り組み、基礎・基本の定着を図る。その上にたち、資料活用力・思考力・判断力の伸長をほかり、言語による表現力を高める。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導の工夫と改善に取り組み、基礎・基本の定着を図る。 <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の興味・関心を引き出し、学習内容の定着を図る。 ○意見交換や発表が増える指導方法や環境作りを工夫する。 ○科学的に探究する能力の基礎と態度を育て、生徒の主体的な学習へとつなげる。 <p>【音楽】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の興味・関心や発達段階に応じた指導や評価を工夫し、幅広い音楽体験を通して、個性的で創造的な学習活動を展開する。 <p>【美術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が設定したテーマに向かって具体的にイメージをさせる。 ○自分が描いたイメージに沿って製作できるように、一斉指導で基本技能を身につけさせる。 ○イメージを忠実に表現するために、個別に支援する。 <p>【保体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○来年度の新教育課程実施に向け、学習内容の検討・充実 ○積極的に運動に取り組めるような指導方法の工夫・改善 <p>【技家】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年生に対し、中学校で初めて学習する技術・家庭科のガイダンスを適切に行い、技術・家庭科に対する理解を高める。 ○実践的・体験的な学習活動を中心とした題材の設定を行い、生徒の主体的な学びを促す手だてを工夫する。 <p>【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の定着から自己表現までつなげる。 ○明るく元気に活動に取り組み、積極的に英語を使う姿勢を育てる。
<p>道徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好ましい人間関係を基盤とした「心の教育」の推進 ・いじめや命について考える学習の展開 ・特に「生命尊重」の立場に立った道徳の授業の推進 ・人権・同和教育への積極的な取り組み ・各教科、特別活動及び総合的な学習の時間との連携を図った教育活動全般を通じた道徳教育の実践 ・心のノートや地域教材の積極的な活用 ・年間指導計画に基づいた授業実践と道徳的実践力の育成 ・道徳の授業公開や家庭・地域との連携による道徳教育の充実 ・「ふれあい道徳」を年間計画の中に入れた道徳教育の実践 ・学年で同一教材を扱った授業を展開するなど、共通理解を図った道徳教育の研究 ・本校の実態をふまえて重点事項を設定する。 【1年:いじめ】【2年:集団生活・ルール】【3年:夢・目標に向かって(自己実現)】

特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・温かく思いやりのある学級づくり ・集団の一員として自覚し責任を果たす態度の育成 ・生徒の主体的な活動にもとづく楽しく規律正しい学校生活の構築 ・各教科・道徳教育・総合的な学習との関連づけを図った特別活動の推進 ・協力してよりよい生活を築こうとする意欲や集団の一員として活動できる喜びを持って参加できる学校行事の工夫・実践 ・学校行事・ボランティア活動などを通して、郷土への誇りと愛着心を育む活動の推進 ・家庭・地域の人々との幅広い交流・連携を図った特別活動の推進 ・「できるようになる」とすることを大切にされた特別活動の推進 ・1年次から取り組む、夢を持ち、夢を追いかけることのすばらしさを意識した進路学習の展開
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度からの新学習指導要領の完全実施を見据えた年間指導計画の作成 ・指導時間短縮に伴う指導内容や単元構成の工夫 ・育てたい資質や能力の明確化(問題解決能力、情報活用能力、自己表現力等) ・主体的、創造的に取り組む態度の育成 ・各教科との関連の重視 【1年生】「自分の視野を広げよう」というテーマを設定し、地域の地場産業について探究活動を行ったり、国際理解のために佐賀在住の外国人の方との交流会を行ったりする。 【2年生】「自分の可能性を広げよう」というテーマを設定し、職業体験学習を通して人の生き方に触れたり、三年次の関西方面への修学旅行を有意義なものにするために、京都などの伝統文化について調べたりする。 【3年生】「自分の生き方を持とう」というテーマを設定し、修学旅行で京都の歴史や伝統文化に触れることにより、自分の生き方を考える機会にしたり、進路説明会や体験入学を通して進路を決定したりする。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のよさの発見と伸長を図り、生徒自らが目標を定め、よりよい生き方を考え行動できるための指導・支援 ・基本的生活習慣と規範意識の確立 ・元気のよい挨拶とT.P.Oに応じた行動の指導 ・生徒会活動等を基盤としたいじめ等のない学校づくりの推進 ・好ましい人間関係の樹立と教育相談体制の充実 ・いじめ・問題行動への対応としてのアンケート・生活実態調査の実施 ・学校の生徒指導方針にもとづく学校・家庭の一致した指導の展開 ・学校・家庭・地域および関係機関との連携による地域ぐるみの子育て ・防火・防災の訓練を年間計画に位置づけて実施 ・スクールサポーターや学習支援員・スクールカウンセラー・サポート相談員・スクールソーシャルワーカーとの連携を取った指導體制の確立 ・学級担任・副担任を中心に教育相談担当やサポート相談員と連携を行ったグループローラー作戦の実施 ・小・中学校の連携による情報交換と共通実践 ・「できるようになる」とすることを大切にされた生徒指導の展開
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターを核とした特別支援教育の体制づくり ・個別の支援計画の作成と組織的な支援の推進 ・障害の状況に応じた教育課程の計画的・系統的編成・実施 ・特別支援学級と他学級との連携・交流による指導の確立 ・特別支援学校や他の関係機関との連携による指導方法の工夫 ・特別な支援を要する生徒への計画的支援体制の推進 ・小学校と連携した個別の支援計画の引き継ぎと、有効的な活用 ・校内支援委員会の開催と、校内研修の計画的な開催
人権・同和教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びあい」の学習を通じた生徒一人一人の学びの保障 ・人権・同和教育講演会の実施 ・校内研修の実施 ・小・中連携による校内研修の充実 ・「いじめ命を考える日」の充実 ・社会科「江戸時代の身分制度」学習における学級担任と連携した取り組みや、学年共通題材を利用した人権・同和教育の実践 ・生徒全員に人権作文を書かせ、校内弁論大会を実施

<p>キャリア教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路(進学・就職)に関する諸資料の収集と情報の提供 ・学級活動における進路学習の時間の確保と計画的実践の深化 ・地域の人材や勤労に学ぶ職場体験活動の充実 ・基礎・基本の学力の定着と確かな学力の育成 ・面接相談の計画的実施と充実 ・夏季休業等を利用した職場体験などの充実 ・職業人による講話「働く人に学ぶ」を通しての望ましい職業観や勤労観の育成 ・「キャリア教育成果発表会」等に積極的に参加し、他校の実践を参考としたキャリア教育の充実
<p>教育課題への対応</p>	<p>【学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びあい」を柱として、わかる授業を展開するための校内研究体制の確立と職員の意識改革 ・「わかろうとする」ことを大切にする学習指導の探求 ・定期的な校内研修の実施と職員の実践力向上 ・小・中連携による授業公開と授業研究会の実施 ・全国学力・学習状況調査や県の学習状況調査の結果を活用した、基礎学力の定着を目指した授業の工夫・改善 ・家庭学習習慣の確立と「早寝・早起き・朝御飯」などの基本的な生活習慣の確立 ・テストのやり直しや再テストの実施による学力定着への試み ・県作成の「評価テスト」の効果的活用 <p>【環境教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校版環境ISOの再認定に伴い生徒会活動を中心にした環境教育の推進 ・保護者・地域との連携をはかった清掃美化活動(全校クリーン大作戦)の実施 <p>【情報教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークを利用した情報活用能力の育成と情報モラルの必要性 ・各教科等によるコンピュータ利用の増加に伴うコンピュータ室の計画的活用 <p>【図書館教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の定着と読書習慣の確立による図書館利用の推進 ・他校の図書館や市立図書館と連携をはかった図書館活用の推進 ・長期休業中の図書館開館日増などによる <p>【食教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食教育の年間計画の作成と食育通信の計画的発行 ・朝食の摂取率と学力、または就寝時刻との相関関係から、「早寝・早起き・朝御飯」などの基本的な生活習慣を確立するための家庭との連携 <p>【保護者地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりに努め、フリー参観デーや授業参観などの保護者や地域住民が学校に出向く機会の増加 ・学校の教育活動や運営状況に対しての評価を行い、保護者や地域住民への情報発信による連携強化 ・「学校便り」等の公民館との連携による全家庭への回覧を目指した学校情報の周知徹底 ・各学年への「地域連携担当者」の配置と、生徒会JRC部との活動連携 <p>【不登校生徒に対する支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校への予防的対応としての、「学びあい」を核とした授業形態の見直し ・不登校生徒に対する指導・支援の在り方と支援体制づくり ・相談室等登校者への指導・支援の在り方と支援体制づくり ・校内支援体制の確立(グループローラー作戦等) ・スクールカウンセラーやサポート相談員・学習支援員・スクールソーシャルワーカーとの連携による支援 ・支援を要する生徒への計画的支援体制の推進と支援計画の引き継ぎを確実に進行 ・不登校率3%以下を目指した不登校生徒に対する支援